



声のラン



道内では比較的雪が少ない千歳ですが、昨年2月23日に暴風雪による災害が発生しました。

この災害では、台風並みに発達した低気圧の影響で、1日の降雪量は昨年1年間でもっとも多い40センチメートル前後、最大風速も20メートル前後の暴風雪を観測しました。人命にも関わる緊急事態の発生が予想されたため、雪害としては初めて災害対策本部を設置し自衛隊に災害派遣を要請してこれに対応しました。

この災害では、路上に200台以上の車両が一昼夜立ち往生する状況になりました。この原因のひとつは、国道を走行していた車両が吹きだまりやスリップなどで立ち往生し、

声 ① 昨年の2月23日に暴風雪が千歳を襲いました。風が強く、雪も多い嵐でしたが、その被害はどの程度あったのでしょうか？

こうした大雪や強風のときの外出は、どのような心構えが必要でしょうか？

後続の車両が側道や脇道に入ったことがあります。その車両は、つぎつぎに吹きだまりに閉じこめられ、車両の位置がわからなくなってしまうました。

この災害では幸い死傷者は出ませんでした。日ごろから災害時の対応を考えておくことは大切なことです。雪害に対する心構えで最も大切なことは、大雪や強風などの警

暴風雪による災害にはどのような心構えが必要ですか？

《50歳代男性》

報が発表されたときは、外出を控えることです。

やむをえず車で外出するときは、つぎのことを心がけてください。

○渋滞しても幹線道路からはずれないようにする

○燃料を満タンにする

○携帯電話を充電しておく

○長靴・防寒服・スコップなどを車に載せておく

○災害が予想されるときは、ラジオの気象情報や道路交通

情報を確認する

もし、渋滞に巻き込まれ車両から離れるときは、車内に貴重品を残さず、救助活動しやすいよう車の鍵をつけたままにしておくようにしましょう。



平成20年2月23日の暴風雪では多くの車が立ち往生しました(写真は北陽高校付近のようすです)

【ワンポイントメモ】

「災害は忘れたころにやってくる」は、昔の話です。今は、「災害は忘れるまもなくやってくる」と思って、日ごろから避難場所の確認などを行い、家族みんなですまざまな災害に備えましょう。防災については、市のホームページ中「いざというときは」でご覧になれます。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】

危機管理課防災係
☎240144